

授業計画書

作成者(大学名): 山田寛士(愛媛大学)

授業題目		日本の文化に触れる	
今回のテーマ		あやとりの効果を実感してもらう	
今回の到達目標		あやとりのやり方を理解し、できるようになる あやとりの効果を知る	
経過時間	所要時間	項目	内容
0 分	5分	アイスブレイク	輪の紐を渡して、どのように使うかを考えてもらう。 少し意見を出してもらう
7 分	2分	日本のあやとりの歴史	日本での起源や、現代でも遊ばれていることを伝える。
17 分	10分	簡単なあやとりの技の実践	簡単な技から挑戦していき、あやとりを体験してもらう。 一人の技や二人以上でできる技もしてもらう
27 分	10分	難しい技に挑戦する	難しい技に挑戦する 一人の技や二人以上でできる技もしてもらう
44分	15分	新しい技を考えてもらう	グループで、新しいあやとりの技を創作してみる グループごとに発表してもらう
47分	5分	まとめ	実践を通したうえで、あやとりの効果の説明をする

※授業時間は 45 分程度です(配属先学校によって異なりますので、詳細は追って確認・調整して下さい)。